



関西支部 12/6「関西地域企業・公設試と若手研究者の交流ワークショップ(2018)」報告

関西支部では2018年12月6日(木)「関西地域企業・公設試と若手研究者の交流ワークショップーグローバルに活躍する関西地域企業の魅力に迫る!ー(2018)」を地方独立行政法人京都市産業技術研究所(京都市下京区)にて開催しました。当日は学生34名(うち8割は学部3回生)を含む52名の方にご参加いただきました。本企画は関西地域企業と公設試験研究機関(公設試)の研究・開発などの業務内容を若手研究者、学生の方々に広く知っていただくとともに、学会などでは難しいこれら企業・公設試の方と学生の方々との交流を深めることを目的とし開催しました。

開会にあたり、片倉啓雄支部長から会の主旨についての挨拶があった後、大阪産業技術研究所の畠中芳郎様、京都市産業技術研究所の廣岡青央様、奈良県産業技術振興総合センターの大橋正孝様、和歌山県工業技術センターの中村允様から各公設試の業務・研究内容について講演いただきました。それぞれの地域の特性を活かした研究、技術開発の事例が紹介され、これまで公設試を知らなかった学生も、その研究力・技術力の高さや地域産業における重要性を知ることができたようです。続いて、佐々木化学薬品株式会社の高田慎一様からは、社会のニーズに対してターゲットを絞る研究開発戦略、それにより生み出された生体試料のパウダー化、食品微生物迅速検査などの技術開発を紹介いただき、さらにワーク・ライフ・バランス、セルフ・キャリアドック事業など福利厚生に関する取組みについても話をいただきました。玉乃光酒造株式会社の山川結様からは、早くから純米酒にこだわり、自社精米や手作業による酒造りに取り組んでおられる同社の特色、さらに、自らの経験を踏まえキャリアを切り拓く術についても話をいただきました。株式会社ファーマフーズの山津敦史様からは、誰もが一度はCMで聞いたことのある食品製品に含まれている機能性素材、たまごの機能性を活用した化粧品や石鹸、現在進行中の抗体医薬のプロジェクトを紹介いただき、急成長を遂げる研究開発型企業のさまざまな魅力を紹介していただきました。

講演会に引き続き3グループに分かれてテーブルディスカッションを行いました。学生にとっては普段接する機会の少ない企業・公設試の研究者に直接質問でき、講師の先生方のさまざまな視点でのアドバイスから、積極性やチャレンジ精神の重要性を感じ取り、大いに刺激を受けたように見受けられました。続く懇親会では玉乃光酒造株式会社提供の純米吟醸酒とともに、それぞれの所属、役職に関係なく交流を深めることができました。通常の企業セミナーでは不可能なさまざまなディスカッション、交流を行うことができ、参加企業・公設試研究者と若手研究者・学生、双方にとって非常に有意義な企画であったように思います。関西支部では今後も産官学研究者、およびシニアと若手の研究者の交流が促進できるような企画を進めて参ります。

(関西支部委員 山本佳宏、原田和生)



(地独) 大阪産業技術研究所
畠中芳郎氏



(地独) 京都市産業技術研究所
廣岡青央氏



奈良県産業技術振興総合
センター 大橋正孝氏



和歌山県工業技術センター
中村允氏



佐々木化学薬品株式会社
高田慎一氏



玉乃光酒造株式会社
山川結氏



株式会社ファーマフーズ
山津敦史氏



テーブルディスカッションの様子



懇親会の様子